

2024年度 法人共通 卒後3年目研修【集合&オンライン】

「職場内教育の基礎知識」

～後輩指導の基本的知識を学びましょう～

受講者の皆様が、後輩の仕事の結果だけを評価するのではなく、日々の努力や成長過程を認め、後輩の行動に至るまでの思考や感情、後輩が大切にしている価値観にも理解を示しながら指導ができるよう、これから一歩ずつ学びながら成長されることを、法人全体で応援します。

卒後3年目の職員が、職場内教育の重要性と後輩指導に携わる者としての役割を学び、後輩を育てる上での自身の課題を見出すことを目的に開催しました。

■開催日時：①10月10日（木）14:30～16:30 ②10月17日（木）14:30～16:30

■受講者数：180名

助産師3、看護師102、臨床検査技師7、薬剤師10、理学療法士25、作業療法士8、社会福祉士3、介護福祉士2、臨床工学技士4、救急救命士4、言語聴覚士4、栄養士1、事務職4



研修内容



1. 後輩の「いい行動」を増やし、それを継続させるために
～「行動科学マネジメント」に基づいて～
2. 後輩の「答え」や「主体性」を引き出すために
～「コーチングスキル」の活用～
3. 後輩指導について学ぶ意義



講師のご紹介

医療法人協和会
第二協立病院
理学療法科 管理科長
尼岸 正行氏



受講者の感想（アンケートより）



- ・後輩が何に困り、何に悩んでいるのか引き出しアドバイスをしつつ、後輩自身が主体的に考え答えを導き出せるように向きあっていきたい。
- ・年数が浅いからこそ共感できることがあると思う。悩みや不安を聞き、どんな所でつまづいているのかを一緒に考えて、後輩が成長できるタイミングを作ることができるように関わります。
- ・自分は既に知っていることも、後輩にとっては初めての事という意識を持って、具体的に言語化する。
- ・今まで教えてもらう立場であったため、気持ちや主体性の引き出し方がとても勉強になった。
- ・普段ふわっと感覚的に行っている指導について、目的や方法を論理的に理解できたことがよかった。
- ・色々な先輩から教えてもらったからこそ今の自立した自分があることを改めて感じ、丁寧に後輩指導していけたらなと思った。

